

フロアーカーリング大会（南区ローカル・ルール）

フロッカー競技方法

人 数

・トリプル（3対3）フロッカー6個とする。ただし、セットごとにメンバー交代ができる。

競技の進め方

1. 両チームキャプテンは、ジャンケンで先攻を決め、（以後、セットごとに先攻権は移動する）先攻チームの1人がグリーンゾーンに向け、送球ゾーン内よりターゲットを送球する。
2. グリーンゾーンにターゲットが停止しない場合（無効）は、もう一度やり直す。2回とも停止しなかった場合は、相手チームに権利が移り、相手チームも2回送球できる。ただし、どちらも無効の場合は審判が適当な場所におく。
3. 先攻チームはレッドのフロッカーを、後攻チームはイエローのフロッカーを使用する。（セット毎にチームの位置は交代しない※フロッカーを動かす）
4. ターゲットがグリーンゾーン内に停止した後に、先攻チームの1人がターゲットに向けフロッカーを送球し、続いて後攻が送球、以後交互に送球する。
5. ライン上での停止はすべて有効。また、送球中一度コート外に出たフロッカーが再びコート内に戻って停止した場合も有効である。
6. コート外のフロッカーは撤去しないが、他コートの妨げになる場合は審判の判断により撤去する。
7. チームの代表者はコート内に入って指示することができる。
8. 両チームともすべてのフロッカーを送球してセットやゲームは終了する。
9. 各送球時にターゲットをコート外に出した場合、その時点でそのセットは終了

勝敗と得点

1. セットごとの得点確認はチームの代表者が確認する。
2. 得点は、ターゲットを中心に最も近いフロッカーのチームに与えます。ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数（1個1点）がそのまま得点となる。
3. 両チームのフロッカーがターゲットから同距離の場合のみ、両者に1点ずつ入る。通常は、両チームのどちらかが0点になる。
4. 送球時にターゲットをコート外に出した場合は、相手チームに残りフロッカーの数の点数が入る。（但し、残フロッカーが無い場合でも最低2点が相手に入る）
5. ゲーム終了後同点の場合は代表者によるフリースローを行いターゲットに近い方を勝ちとする。
6. 通常は4セットもしくは9点先取で試合を行う。

☆ 日本フロアーカーリング協会の競技規則を準用し、一部ローカルルールを適用する。